バケット（都道府県コード及び市区町村コードは、北海道札幌市を例とする））に、「0002」のフォルダを作成する。印鑑登録が提供側業務システムであり、住民基本台帳が利用側業務システムとなる場合は、「0001」のフォルダを作成する。

なお、一つの業務 ID に対して、複数の事業者のシステムにて構築する場合は、業務 ID の後ろに 01 から始まる連番２桁を付与し、計６桁とすることでシステムを区別すること。

例）0（システム区分：1 桁）＋022（業務 ID：3 桁）＋01（連番：2 桁）

※「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和八年デジタル庁・総務省令第８号。以下「データ要件・連携要件の標準を定める命令」という。）」に従い、標準準拠システムが独自施策システム等とファイル連携を行う場合には、地方公共団体において一意に識別する独自施策システム等 ID を付番し、連携フォルダ名を規定すること。

②　退避・移動ファイル履歴管理用のフォルダ名は「rireki」とすること。

③　申請管理機能のフォルダ構成における、「手続別フォルダ」、「申請 ZIP 別フォルダ」のフォルダ名は、「申請管理システム標準仕様書」（総務省）の規定に従うこと。

2.3. 連携ファイルについて

2.3.1. 連携ファイル命名規則

①　連携ファイルの命名規則は以下のとおり。

{連携 ID＋枝番＋版数}_YYYYMMDDhhmmssfff_{9}.csv

連携ファイル名（機能別連携仕様にて、I/O が output となっている連携機能名の「連携 ID+枝番+版数」）の後ろにスネイクケース（単語間をアンダースコアで繋げる表記法）を使用し、ファイル出力したタイムスタンプ（年